

東日本大震災復興支援「つくる事が生きること」神戸展



この度、わわプロジェクト(東京都千代田区ノ代表・中村政人)では、『東日本大震災復興支援「つくる事が生きること」神戸展』を「デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)」(神戸市中央区小野浜町1-4)と共同で開催いたします。

今回は2013年1月17日で発生後18年目を迎える「阪神・淡路大震災」を経験した街、神戸での開催であることから、東日本大震災前後を撮影した作品「気仙川」で話題を呼んだ写真家畠山直哉(※1)と、1995年阪神・淡路大震災直後の神戸を撮影した写真家宮本隆司(※2)の写真の同時展示および二人のトークセッションをはじめ、神戸で被災した経験を持つアーティスト椿昇の「核」をテーマとしたバルーンタイプの巨大立体作品、そして東北と神戸の今とこれからを考える様々なプログラムを展開します。さらには原久子×SPREADが展示ディレクションする「阪神・淡路大震災＋クリエイティブ タイムライン マッピング プロジェクト」(<http://tm19950117.jp/>)として、阪神・淡路大震災に対する17年間の支援プロジェクトを、アート・デザイン・建築の分野別に時間軸におとしこんだ年表の展示を行います。また、「やっべし祭りin神戸」として東北の食や風土にふれるイベントも併催し、多くの方々楽しんでいただくことを目指しています。

3.11から約2年、震災復興活動は終わっていません。「終わらない震災」に向け、私たちは今、何をみつめ、何を問うのでしょうか？神戸から見た東北、東北からみた神戸、参加者それぞれが持つ”記憶“や”場“を共有しながら、未来を考えていきかけづくりができればと思っています。

(※1)2012年ヴェネツィア・ビエンナーレ第13回国際建築展日本館(金獅子賞受賞)展示参加

(※2)1996年ヴェネツィア・ビエンナーレ第6回国際建築展日本館(金獅子賞受賞)展示参加

■開催概要

催事名	東日本大震災復興支援「つくる事が生きること」神戸展
会場	デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 神戸市中央区小野浜町1-4
会期	2013年1月17日(木)～27日(日) (10日間)
休館日	月曜日
参加料	無料
主催	わわプロジェクト (一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN)、デザイン・クリエイティブセンター神戸
後援	神戸市
協賛	富士フイルム株式会社、キヤノン株式会社
協力	やっべし祭り実行委員会

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

わわプロジェクト事務局 (一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN) 担当/高村、上坂
 TEL : 080-4150-2550 E-MAIL : info@wawa.or.jp URL : <http://wawa.or.jp/>
 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 3331 Arts Chiyoda

■ 1 【展示／ワークショップ】（会期中開催）

阪神・淡路大震災と東日本大震災におけるアーティスト・クリエイターによるプロジェクトや、大型立体作品、等身大スケールの写真展示を通して17年のプロセスを視覚化し、震災後の問題について考えていきます

《参加アーティスト(団体)・展示作品》

椿昇「MUSHROOM」／ 畠山直哉 ／ 宮本隆司「KOBE 1995 After the Earthquake」／ 遠藤一郎
 「失われた街 模型復元プロジェクト」（監修：槻橋修）／「明治三陸大海嘯の実態」（リアス・アーク美術館《交渉中》）
 「阪神・淡路大震災＋クリエイティブ タイムライン マッピング プロジェクト」（展示ディレクション：原久子×SPREAD）
 「被災地の復興リーダーが語る映像展示」（わわプロジェクト）ほか

■ 2 【イベント】 やっぺし祭り in 神戸（1月26日(土)、27日(日)開催）

岩手県大船渡市で定期開催されている「やっぺし祭り」が神戸にやってきます。様々な人が気軽に参加できる楽しいワークショップや、東北を紹介する食やお酒のイベントを開催します。



（写真） 遠藤一郎「未来へ号」／やっぺし祭りの様子／福島県浪江町の酒「盤城寿」

■ 3 【イベント会期中の他みどころ】 トークセッション、ワークショップなど

■ トークセッション

阪神・淡路大震災、ならびに東日本大震災を受けて復興プロジェクトを進めているアーティスト・クリエイター等によるトークセッションを実施します。過去の知見・実績を踏まえ、今後、東北復興になにができるかを考えます。

▶▶1月19日(土) 畠山直哉 × 宮本隆司

▶▶詳細はwebサイトにて随時公開していきます。(http://wawa.or.jp)



復興プロダクト販売「わわや」

■ 復興プロダクト販売「わわや」

KIITOの会場中にて、臨時店舗「わわや」をオープンします。3.11後、復興支援を目的につくられた多様な商品や、震災がれきなどを活用したプロダクトを展示・販売します。また、それらがもつストーリーを紹介し、「ものづくり」やデザインの意味・可能性を提示します。

■ 「失われた街 模型復元プロジェクト」ワークショップ

「失われた街 模型復元プロジェクト」の一環として2011年7月より取り組んでいるワークショップを実施します。神戸の街模型に色を塗ったり記憶の旗を立てていく過程で、街の記憶や地域の出来事の記憶、震災の記憶などを語り合い、共有し、次のまちづくりに活かすことを目的としています。

▶▶1月27日(日) 開催予定



「失われた街 模型復元プロジェクト」ワークショップ

わわプロジェクトとは

本プロジェクトは、東日本大震災復興活動を行う個人・団体 と支援者・支援団体を結ぶソーシャル クリエイティブ プラットフォームです。仮設住宅地のコミュニティ支援をはじめ、被災地域のアクティビストとの連携、活動拠点の整備、新聞・WEBを活用した地域情報の発信を行い、個と個を結び新たな サステナブルコミュニティの生成をサポートします。